

保育及び子育て支援に関する調査研究報告書 -平成 16 年度-

II. 調査結果の分析

2. 延長保育

延長保育(11 時間の開所時間の前後の時間においてさらに概ね 30 分以上の延長保育を行うこと)を実施しているかどうかを問う設問である。

問 2. あなたの保育所では、延長保育を実施していますか。

「はい」の回答は 61.5% (公営 44.9% 民営 78.4%)

「いいえ」の回答は 37.4% (公営 53.8% 民営 20.8%)

未回答 1.0% (公営 1.3% 民営 0.8%)

延長保育においても民営主導型となっており、全国的には、民営 78.4% 公営 44.9%となっている。地域区別にみても九州地区 71.0% (公営 44.1% 民営 81.5%) 関東地区 68.2% (公営 55.7% 民営 83.3%) 北信越地区 62.3% (公営 51.2% 民営 84.1%) 近畿地区 61.9% (公営 42.9% 民営 78.4%) 北海道・東北地区 58.1% (公営 44.2% 民営 72.5%) 中国・四国地区 53.8% (公営 31.8% 民営 81.4%) 東海地区 49.0% (公営 39.3% 民営 63.3%) となり、民営は東海地区を除く他の地域はすべて 70%以上の高い数値となり、公営は関東地区の 55.7%を最高とし、他はすべて 50%以下の数値となっている。

所在地区別にみると、県庁所在市 (74.7%) や中都市 (71.9%) の需要が高く小都市 A (68.9%) 小都市 B (63.6%) 都区部・指定都市 (62.8%) 町村 (47.0%) と続く。

問 2-1 実施していない理由について

「地域にニーズがない」 44.1% (公営 41.8% 民営 50.4%)

「市町村が積極的でない」 11.9% (公営 15.0% 民営 3.9%)

「長時間の保育はよくない」 7.9% (公営 3.8% 民営 18.6%)

その他 31.1% (公営 33.8% 民営 24.0%)

未回答 4.9% (公営 5.6% 民営 3.1%)

「地域にニーズがない」と回答するのは、北信越地区が 55.3% (公営 53.7% 民営 66.7%) と高く、他の地域は 40%前後の数値となっている。公営、民営を比べると中国・四国地区の 42.9% (公営 37.9% 民営 66.7%) と差がある他は、みな 5%程度とわずかな差となっている。「長時間の保育はよくない」とする数値は、民営が高く施設としての方針も窺える。

延長保育を実施しないその他の理由としては、

- * 実施したい意向はあるが、指定園があるため実施できない。
- * 財政難のため、人的配置がむずかしい。
- * 民営優先のため民営保育所に依頼している。
- * 他の施設で行っているため、ニーズがない。
- * 子どもに与える影響を考え、実施する意向はない。

* 組合員との合意ができない。

等の回答が寄せられているが、中には「補助対象ではないが、居残り保育はおこなっている。」「思案中、民営の保育園とのバランスを考えている。」「来年度に向けて準備中」等の前向きな回答も寄せられている。

実施していない理由を所在地別にみると、「地域にニーズがない」とするのは小都市（55.6%）や町・村（53.9%）が高く、都区部・指定都市においては16.4%とニーズはあるものの財政難であったり、人的配置がむずかしかったりという理由から指定園的に拠点方式をとっている様子が窺える。